

地域おこし協力隊・地域活性化起業人だより vol.1

それぞれの思いを胸に那須町で大活躍中の地域おこし協力隊・地域活性化起業人の皆さんの活動をご紹介します。これまで取り組んできた内容や今後の展望、感じたことなどを伺いました。

■問合せ ふるさと定住課事業推進係 ☎72-6955

里山から始める鳥獣被害対策―
竹林整備と地域連携で暮らしを
守る―

氏名：木村 祐仁
所属：農林振興課畜産係
ミッション：鳥獣被害対策



令和5年9月に着任し、那須町で地域おこし協力隊として鳥獣被害対策に取り組んでいます。

主に、農地や集落周辺の被害状況を把握する「鳥獣被害調査」と、動物が隠れにくい環境をつくるための「竹林整備」を活動の中心にしています。

着任当初は、狩猟の制度や現場の知識も乏しく、試行錯誤の日々が続きました。思うように成果が出ず悩むこともありましたが、地域の先輩方や関係事業者の皆さんに支えていただきながら、少しずつ経験を積んできました。



現在は、この春に卒隊された高山さん・長谷川さんと共に、芦野地区で「あしのおと」という団体を立ち上げ、活動の幅を広げています。また、県内外からボランティアの皆さんにも協力いただき、竹林整備を通じた鳥獣被害対策にも取り組んでいます。

令和8年8月末で任期を終えた後は、芦野地区で「鳥獣対策相談窓口」を開設し、地域の皆さんの困りごとに対応できる体制を整える予定です。

鳥獣被害や竹林の管理でお困りの際は、ぜひお気軽にご相談ください。今後も地域に寄り添いながら、安心して暮らせる里山づくりに貢献していきます。

寄付金を那須町の未来のために

氏名：尾崎 真弥
所属：企画政策課総合政策係
ミッション：ふるさと納税の推進



令和5年11月末、福岡県北九州市から移住し、早いもので2年以上が過ぎました。那須町は雪や夏の雨が多いイメージでしたが、移住後はなぜか私の周りでは雨が少なく、過ごしやすさを感じています。

着任当初、ミッションである「ふるさと納税の推進」という言葉の広さに、何をすべきか悩むこともありました。

転機となったのは令和6年1月の協力隊交流会です。元隊員が地域紹介パンフレットを作った話を聞き「これだ！」と直感しました。改良を重ねて全5種類のパ

ンフレットを制作し、町内の事業者や道の駅へ配布しています。

現在、ふるさと納税を取り巻く環境は、ポイント付与禁止などの制度改正により激変しています。しかし、これは大手サイトに頼らず那須町の魅力を直接伝えるチャンスでもあります。

那須町への寄付金が、町の未来のために最大限活用されるよう、残り半年の任期も全力投球します。そして那須町へ移住した一番の目的である故郷福岡・直方のおかたのソウルフード「カレー焼き」の販売に向け、感謝を込めて最後まで駆け抜けていきます！



カレー焼きを作る様子